

## 日本史B

### 【解答】

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5
a	b	a	b	a
問 6	問 7	問 8	問 9	問 10
d	c	a	b	d
問 11	問 12	問 13	問 14	問 15
a	c	c	b	d
問 16	問 17	問 18	問 19	問 20
c	d	a	d	c
問 21	フェートン号事件以来、日本近海に出没するイギリス船への警戒を深めた江戸幕府が、清、朝鮮、琉球とオランダ以外の外国船を撃退するように命じた法令。その後、アヘン戦争での清の劣勢が日本にも伝わると、幕府は打ち払いの方針を転換して、薪水給与令を復活させた。(124文字)			
問 22	金本位制への復帰による為替相場の安定と海外輸出の促進を通じて、日本経済の国際競争力の強化を目指す政策だったが、世界恐慌のさなかに実施されたため、昭和恐慌を引き起こした。その後、犬養毅内閣が金輸出を再禁止し、管理通貨制度へと移行させて事態を収束させた。(125文字)			

## 【学習アドバイス】

本学の入試は、4科目の選択科目の中から2科目を選択して受験する形式を採り、試験時間は2科目合わせて100分となっている。各科目にかける時間配分は、出題の分量にもよるが、1科目につき50分前後の時間を解答時間として考えるべきであろう。

今年度の問題は、「7世紀から8世紀までの国内状況」、「中世の産業と外交」、「文治政治と産業」、「大正から昭和初期の政治・外交・経済」が出題されており、古代・中世・近世・近代とバランスのとれた出題内容となっている。分野では政治史を中心に、外交史・文化史・テーマ史で構成されている。

本学の入試内容は、昨年度の入試から出題形式が大きく変化した（従来の大問3題から大問5題へ増加、設問形式が語句・人名の空欄補充形式と論述問題のほかに、文章による正誤判定問題と年代配列問題）。今年度も昨年度と全く同じ出題形式だったことから、しばらくはこの傾向が続くであろう。また、昨年度には総解答数も従来の「12個・論述2題」から「20個・論述2題」と大幅に増加したが、今年度も同じであった（昨年度は空欄補充形式が12から4、今年度は2へと減少）。

本学を目指す受験生は、全時代の学習が必要不可欠となる。政治史中心の出題になっているが、政治史に偏ることなく、政治史と関連させて外交史・文化史・テーマ史・社会経済史の学習が大切になってくる。

出題形式の定番である空欄補充問題は、高校の教科書・用語集の範囲内の標準的なものとなっているので、一問一答集などを利用してスムーズに語句・人名等が選べるようにしておこう。

新たに出題された正誤判定問題に対しては、選択肢の各文をしっかりと読んで、誤った語句（人物・事項など）が入っていないか、各時代や政策に関するキーワードが入っているかいないかを正確に判断できるかが大切である。普段の学習から「〇〇に関わった人物は誰か」「〇〇の結果や影響はどうだったか」などを意識して学習を進めていこう。そして最後に正誤判定問題・旧センター試験対策用の問題集に積極的にトライして、「正しい箇所はどれか」「どこが誤っているか」に注意しながら進めていくとよい。

昨年度までは出題されなかった年代配列の出題形式であるが、この形式は「知っている年代（年号）を基準に前後を特定する」「何世紀の前半・中頃・後半か」「何時代か」「為政者が誰の時か」などを特定することで正解が導ける。また年代配列の学習は、正誤判定問題にも関連・直結しているので、問題集を利用してさらに実力を磨いていこう。

本学の入試では、120字程度の論述問題が2題出題されており、論述問題の成否が合否を大きく左右する。今年度は「異国船打払令の内容と結末」、「金解禁の内容と結末」が出題されている（昨年度は「承久の乱後の動向」と「普通選挙法」が出題されている）。主に「事項に関する内容・結果」についての論述であるため、吸収した知識を「誰が」「いつ」「どこで」「何をしたか（なぜそうしたか）」「どのような結果になったか」「どのような影響を与えたか」という形にならぬとよい。受験の基本となる教科書は、そのような流れで記述されているので、太字以外にも注意して、熟読することが大切だ。そしてその内容を自分なりにまとめてみるとよいだろう。論述問題は一朝一夕での対応は難しいので、早めの着手が望ましい。論述問題のトレーニングとして、高校の先生に基本的なレベルの用語の課題を出してもらい、添削指導をしてもらうのが最も効果的な論述対策である。最初は少なめの字数から始めて、徐々に120字まで字数を増やしていくといいだろう。それを繰り返すことにより、論述問題に対する不安が大きな自信へとかわり、合格へ大きく近づくことになる。

以上のような対策を着実に積んでいけば、必ずや良い結果が出るであろう。